



施工完了 チェックシート

確認日	年 月 日
確認者	

1□から7□を



◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

1□ クイックファスナーを正しく取り付けられていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張っても抜けないこと。

折り曲げる 軽く回ること

※クイックファスナーが正しく取り付けられていないと水漏れが発生するおそれがあります。再度、取り付け手順に従ってください。

2□ 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

3□ 水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

4□ 電源は入っていますか

- 電源ランプが点灯していることを確認してください。

5□ リモコンを正しく取り付けられていますか

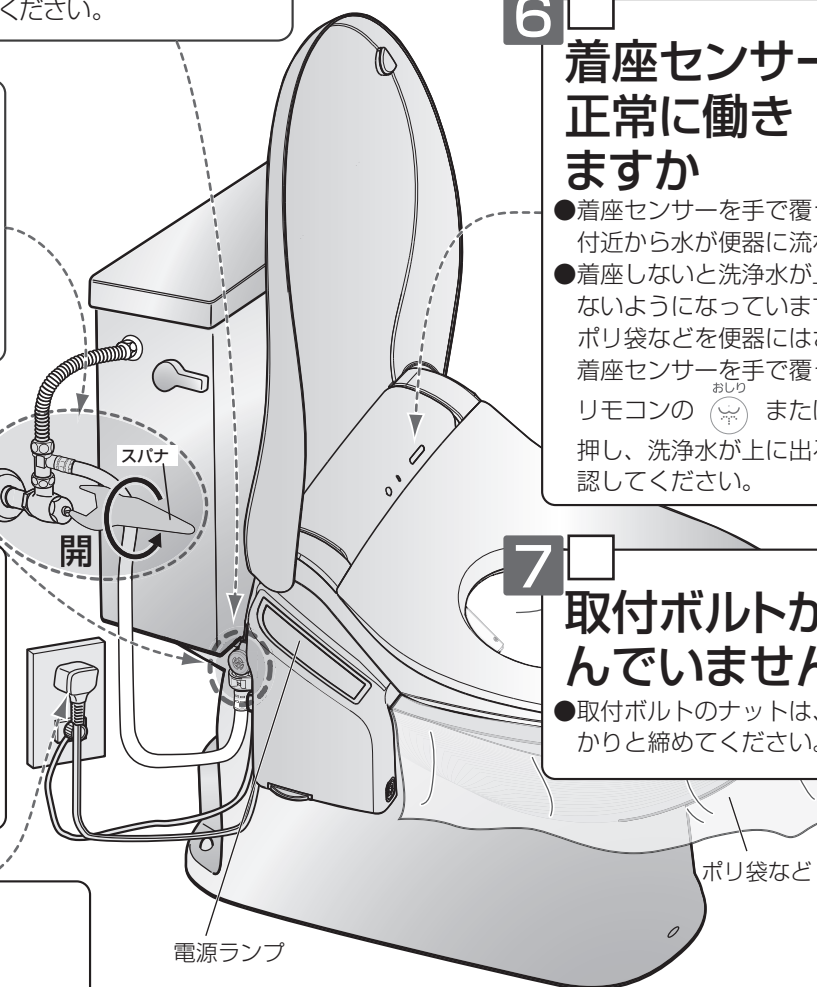
- 直射日光や他の機器の熱の影響を受けやすい場所への取り付けは避けてください。
- 夏場、トイレ内室温が約30℃を超える場合は、リモコンのひとセンサーが正常に働かない場合があります。
- リモコンは赤外線で信号を送信しています。天井との間に棚などの障害物がないか確認してください。

6□ 着座センサーは正常に働きますか

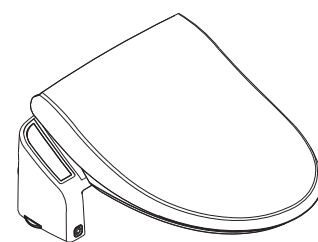
- 着座センサーを手で覆うとノズル付近から水が便器に流れ落ちます。
- 着座しないと洗浄水が上向きに出ないようになっています。ポリ袋などを便器にはさみ、着座センサーを手で覆ったまま、リモコンの または を押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

7□ 取付ボルトがゆるんでいませんか

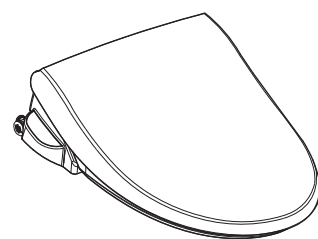
- 取付ボルトのナットは、手でしっかりと締めてください。



配管方法などはイラストと異なる場合があります。



DL-WF60・DL-WF50



DL-WF40・DL-WF20

施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」(2ページ)は、施工前に必ずお読みください。

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
- イラストはDL-WF60で説明しています。品番により異なる場合があります。

パナソニックホームページで
取り付け手順を動画で公開しています。

panasonic.jp/toilet/

Panasonic®

施工説明書

温水洗浄便座 家庭用

品番 DL-WF60
DL-WF50
DL-WF40
DL-WF20

	ページ	
1	●安全上のご注意…………… 2	準備
	●施工の前に…………… 3	
	●各部の名前と同梱部品の確認…………… 4	
2	●施工の流れ…………… 6	施工
	●止水栓を閉める…………… 8	
	●分岐金具を取り付ける…………… 9	
	初めて温水洗浄便座を取り付ける場合 既設の温水洗浄便座から取り替える場合 … 10	
3	●給水ホースを本体に取り付ける…………… 12	取付
	●本体を取り付ける…………… 13	
	●アース線の接続 / 止水栓を開ける…………… 14	
	●クッションを取り付ける…………… 14	
	●リモコンを取り付ける前の確認…………… 15	
	●リモコンを取り付け、電源を入れる… 16	
4	●試運転…………… 18	試運転
5	●こんなときは…………… 19	確認
	●施工完了チェックシート…………… 裏表紙	

パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナービジネスユニット

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2012



DL949A-EACP0
CS0612-0

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

注意

D種接地工事を行う
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない。
施工は、施工説明書に従って確実に行う
説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因。
施工は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する
指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因。
電気工事は、内線規程に従って施工する
内線規程に従わないと、火災、感電の原因。
定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因。
コンセントのアース端子にアース線を取り付ける
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因。
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因。
上水道以外には接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因。
腐食や異物付着による水漏れの原因。
電池は誤った使い方をしない

- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因。

水場使用禁止
バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因。

水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う
条例に基づいて行わないと、水漏れの原因。

移動や施工時、本体を持つ
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因。

本体接続部は、落下等でストレスをかけない
ストレスをかけると割れが発生し、水漏れの原因。

本体接続部

施工の前に

- お願い

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
 - 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから施工する。
 - 必ず同梱の分岐金具をご使用ください。
 - 既設の温水洗浄便座から取り替える場合は、既設のひとセンサーやリモコンは必ず取り外してください。(干渉して誤動作します)
- お知らせ

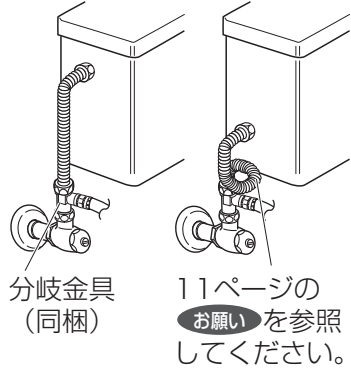
- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますが、故障ではありません。
 - 使用水圧範囲は49～735 kPa{0.5～7.5 kgf/cm²} です。
 - 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。

給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは300 mmです。
フレキシブルパイプは切断しないでください。
右図のA寸法が、約150～330 mmの場合は、取り付けできます。
上記以外で②③の場合は、**部材購入**が必要です。

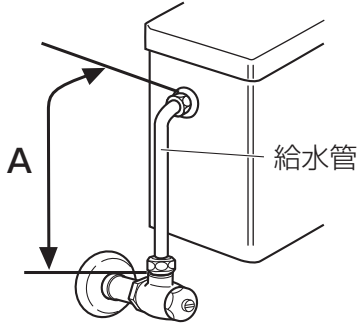


- ①A寸法が約150～330 mmの場合の施工例
- ②A寸法が約150～330 mm以外の場合
別売品またはホームセンターなどで市販品を
購入してください。

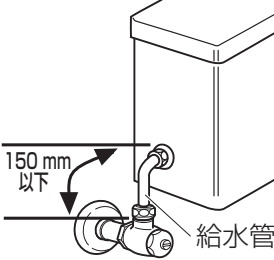


	フレキシブルパイプの長さ	品番	本体希望小売価格
別売品	250 mm	☆ AD-HS25B	630円 (税抜600円)
	350 mm	☆ AD-HS35B	756円 (税抜720円)
	400 mm	☆ AD-HS40B	809円 (税抜770円)
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。	

☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。
価格は2012年8月現在の希望小売価格です。
価格・品番は変更される場合があります。



- ③給水管が短い場合
または外れない場合
A寸法が約150 mm以下
ではフレキシブルパイプが
曲げられず、取り付けられ
ません。この場合、9ペー
ジを参照してください。



リモコン取付位置の確認

リモコンを取り付ける位置は、15～17ページを参照してください。

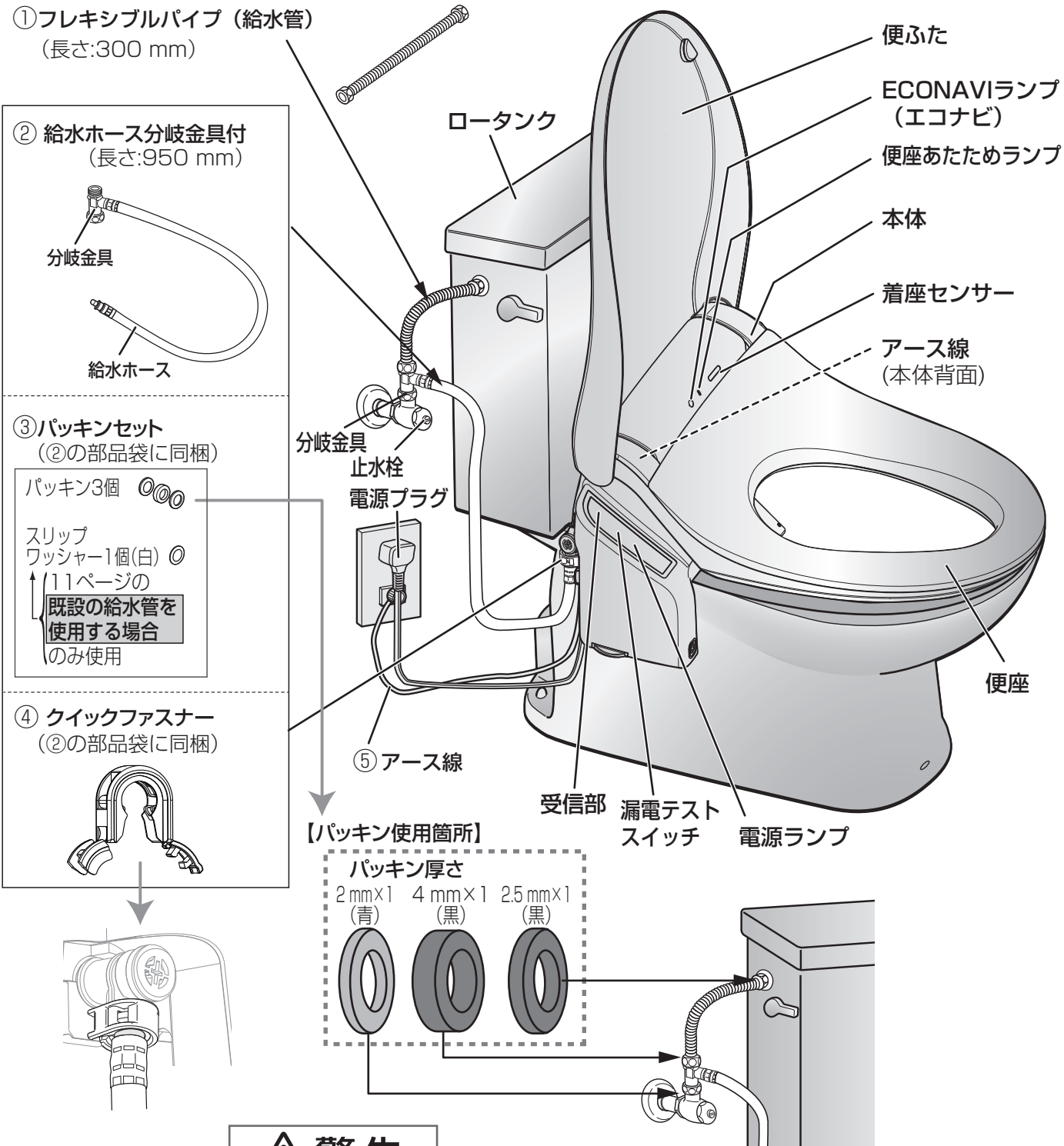
ご準備いただくもの



準備

各部の名前と同梱部品の確認

施工方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。



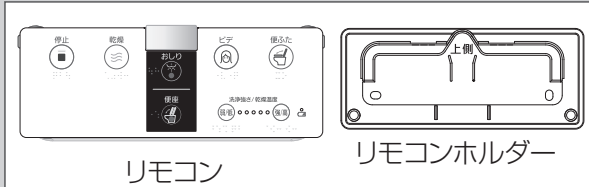
【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。 ☒ チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	フレキシブルパイプ (給水管)	1	☐
②	給水ホース分岐金具付	1	☐
③	パッキンセット (パッキン 薄い黒2.5 mm厚さ×1 パッキン 青2 mm厚さ×1 パッキン 厚い黒4 mm厚さ×1 スリップワッシャー (白)×1)	1	☐ (②の部品袋に同梱)
④	クイックファスナー	1	☐ (②の部品袋に同梱)
⑤	アース線 (本体接続済み)	1	☐
⑥	取付ボルトセット	1	☐
⑦	説明書セット 取扱説明書 施工説明書	1	☐
⑧	スパナ	1	☐
⑨	クッション (DL-WF60/50/40のみ)	1	☐
⑩	タッチレス操作ガイド (DL-WF60/50/40のみ)	1	☐

準備

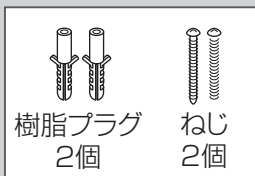
〈リモコン用〉

⑪ リモコンセット

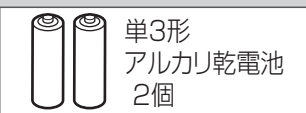


リモコンホルダーはリモコンにセットされています。

⑫ 取付ねじセット



⑬ 乾電池セット



⑪	リモコンセット (リモコン リモコンホルダー)	1	☐
⑫	取付ねじセット	1	☐
⑬	乾電池セット (単3形アルカリ乾電池)	1	☐

【別売品】 (サービスルート扱い)

記号	部品名	部品品番 ※	数量
①	別売分岐水栓・キャップセット (9ページ) (分岐水栓 キャップカバー キャップA パッキン大 黒2.5 mm厚さ×1 説明書)	ADL531A-B4JS	1

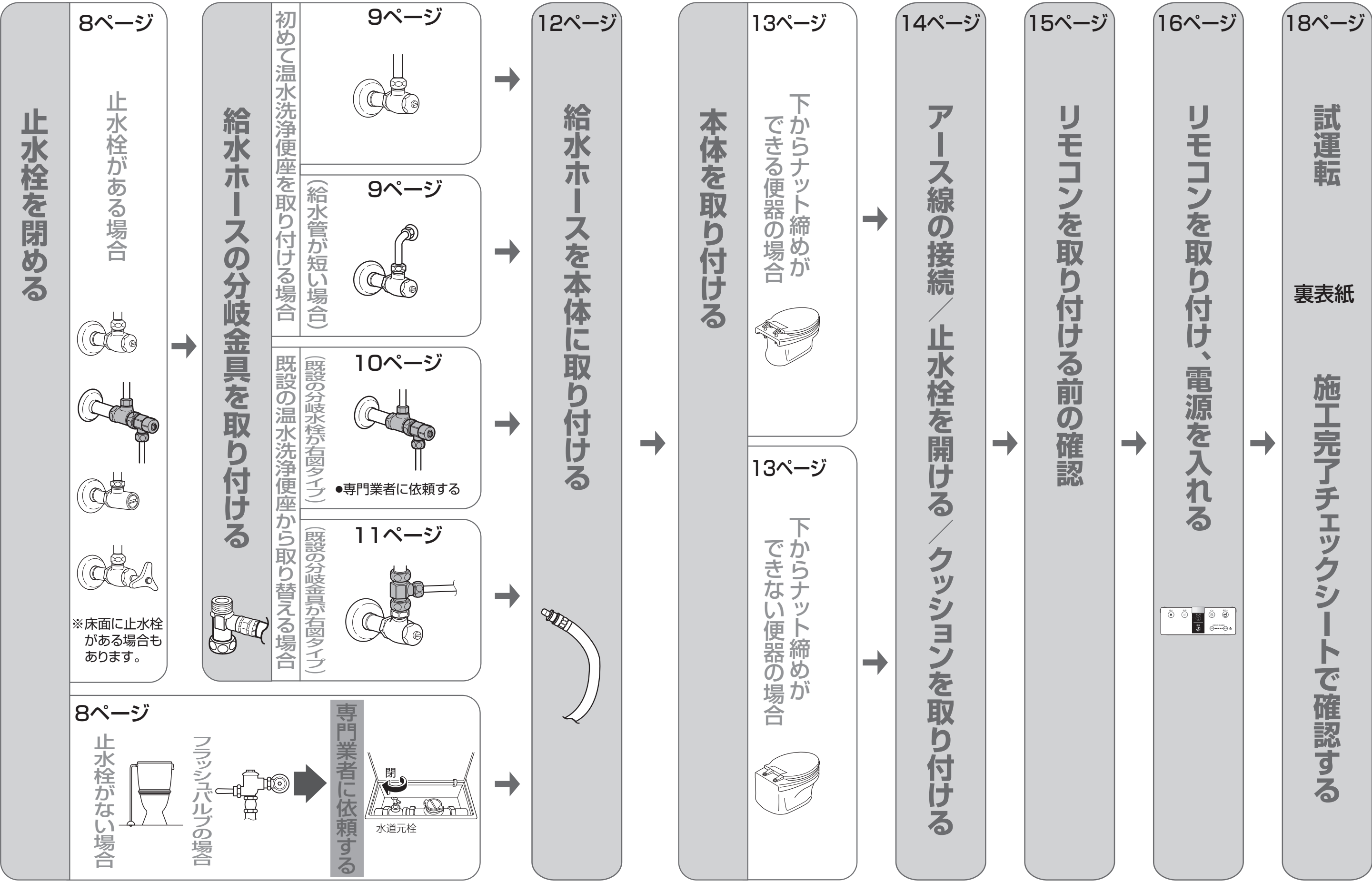
※部品品番は予告なく変更することがありますので
ご了承ください。

別売品の ①は、配管の状態によって必要な
場合があります。販売店でご購入ください。

お知らせ ●操作音について (タッチレス操作及び便ふた・便座開閉はDL-WF20を除く)
「ピッ」 →各スイッチを押した時、タッチレス操作でおしり洗浄時、便ふたが自動で開く時
「ピー」 →停止スイッチを押した時、各スイッチの「切」設定時
「ピピピ」 →操作を受け付けない時
「♪ピ・ポ・パ」 →スイッチ操作またはタッチレス操作で便ふた・便座を開く時
「♪パ・ポ・ピ」 →スイッチ操作またはタッチレス操作で便ふた・便座を閉じる時

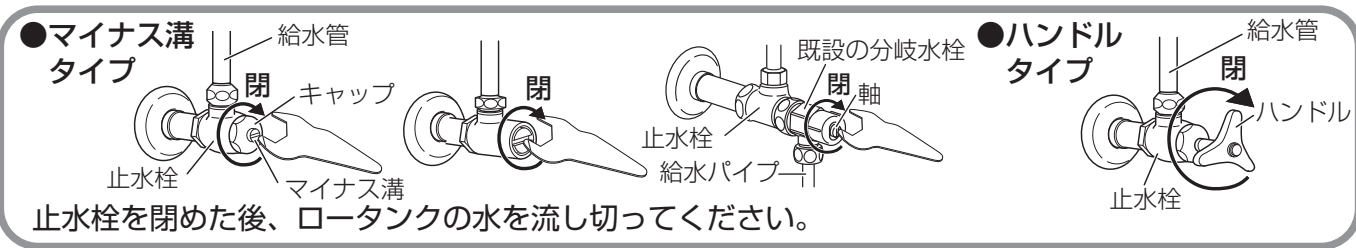
施工の流れ

パナソニックホームページで
取り付け手順を動画で公開しています。
panasonic.jp/toilet/



止水栓を閉める

■止水栓がある場合



9~11ページ 分岐金具を取り付ける

■止水栓がない場合 → 施工については専門業者に依頼してください

分岐金具を取り付ける

〈分岐金具の締め付け方〉
→9ページ参照

★は、同梱部品です。
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。
⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

- 1 水道の元栓を閉める
- 2 給水管に分岐金具を取り付ける

注意
●取り付け順・方向を間違わない。

★分岐金具
★パッキン(青2mm厚さ)

約620mm

給水管

品番:
☆AD-T5MF7NX
(TOTO製)

パイプカッターで切断
分岐金具への差込代は約10mmを必ず確保する。

フラッシュバルブから本体へ給水する場合

TOTO製の場合

- 1 水道の元栓を閉める
- 2 分岐金具を取り付ける

●右図のような取付口がある場合、アダプターは不要です。
●分岐口有りの場合は、別売品のアダプターを取り付ける。
●分岐口無しの場合は、接続管を取り付ける。
1. フラッシュバルブ本体から接続管を外す。
2. フラッシュバルブ用アダプター(別売品)を取り付ける。
3. 分岐金具の異径アダプター側をふさぐ。
4. アダプターに分岐金具を接続する。

取付口

★パッキン(薄い黒2.5mm厚さ)
★分岐金具
異径アダプター側をふさぐ

接続管

★分岐金具
★パッキン(青2mm厚さ)

☆別売品: フラッシュバルブ用アダプター

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合

図①

☆AD-TH343R

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合

図②

図②のA寸法が120mmの場合
☆AD-TH484

図②のA寸法が120mm以外で、普通形フラッシュバルブの場合
☆AD-TH502-1R(1S)

図②のA寸法が120mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合
☆AD-TH347-1R(1S)

図③のように曲がり管の場合
☆AD-TH484-1

曲がり管

INAX製の場合

- 1 水道の元栓を閉める
- 2 ②部を外す
- 3 フラッシュバルブ用アダプターを取り付ける

化粧カバーなし(ボルトむき出し)

AD-K012SWS

化粧カバーあり

AD-K011SWS

☆別売品: フラッシュバルブ用アダプター

異径継手(パッキン付)

フラッシュバルブ用アダプター

フラッシュバルブ

パッキン

②部

- 4 フラッシュバルブ用アダプターに分岐金具を取り付ける

☆別売品: キャップセットDL542A-Z6JS0

キャップカバー

キャップA(大)

パッキン(大)(黒2.5mm厚さ)

パッキン(小)

キャップB(使用しません)

★分岐金具

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

◎取付後、水道の元栓を開けてください。

12ページ 給水ホースを本体に取り付ける

初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

●ロータンクの下からの給水の場合は、止水栓と給水ホースの間に分岐金具を取り付けてください。
(フレキシブルパイプは使用しません)

★は、同梱部品です。
⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

1 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す

2 分岐金具を止水栓に、取り付ける

〈分岐金具の締め付け方〉

回り止めのために「プライヤー・モンキー・レンチ等」の工具でこの部分を固定する

手で仮締めをし、同梱のスパナで締め付ける

指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない

給水管が短い場合、給水管が外れない場合

下記の別売品を販売店で購入してください。

〈別売品A〉別売分岐水栓・キャップセット (品番: ADL531A-B4JS)

分岐水栓 1個

パッキン(大) 1個 (黒2.5mm厚さ)

キャップA(大) 1個

キャップカバー 1個

説明書 1枚

1 水道の元栓を閉める

2 別売品の分岐水栓を取り付ける

3 本体同梱の分岐金具を取り付ける

〈別売品の分岐水栓〉

別売品の分岐水栓

パッキン付き

★分岐金具

別売品のキャップA(大)

別売品のパッキン(大)(黒2.5mm厚さ)

別売品のキャップカバー

本体同梱のフレキシブルパイプは使用しません

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

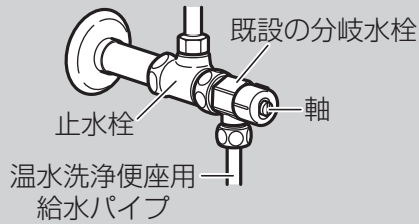
11ページ 分岐金具を取り付ける ② 給水管の取り付け

12ページ 給水ホースを本体に取り付ける

施工

分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける

既設の分岐水栓が 下図のタイプ A



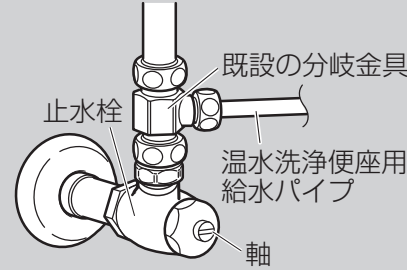
1 水道の元栓を閉める

- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。
- 本体取り付け完了後、全開にしてください。



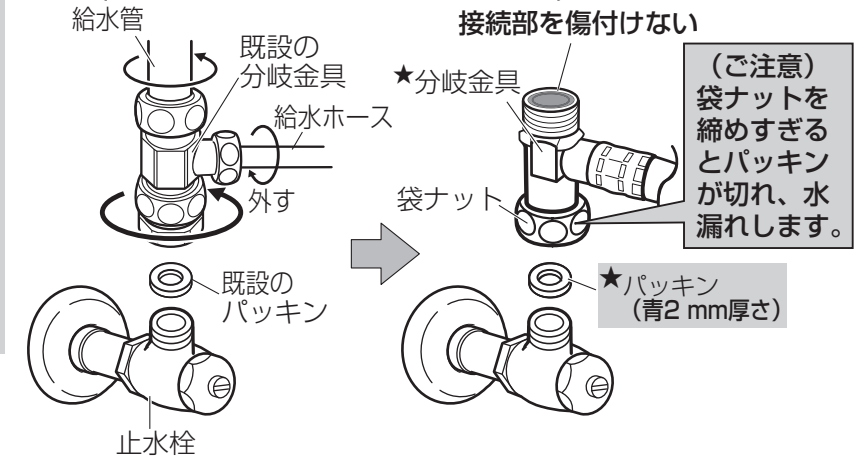
★は、同梱部品です。
④は、サービスルート扱い（別売品）です。

既設の分岐金具が 下図のタイプ B



★は、同梱部品です。

1 給水管を外してから、同梱の分岐金具に交換する 〔分岐金具の締め付け方〕→9ページ参照

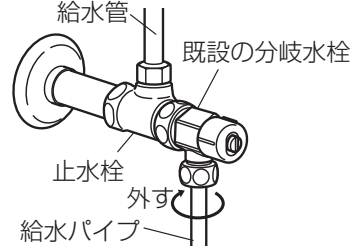


（ご注意）
袋ナットを
締めすぎると
パッキン
が切れ、水
漏れします。

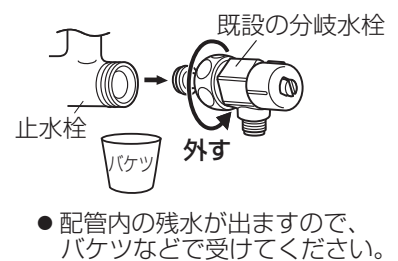
- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

止水栓を元に戻す場合（専門業者に依頼してください）

2 給水パイプを外す

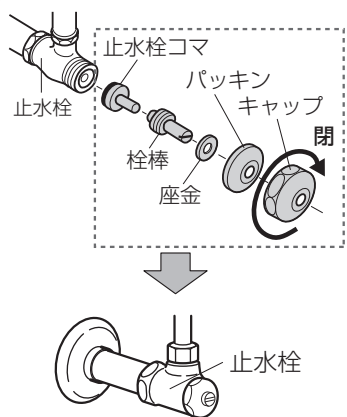


3 既設の分岐水栓を止水栓から外す

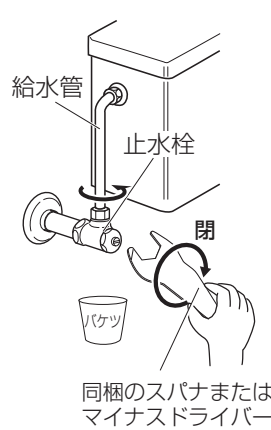


- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

4 止水栓を元にもどす

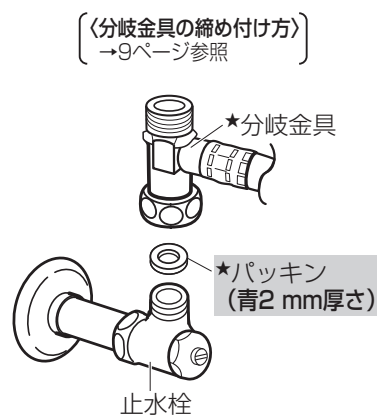


5 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

6 分岐金具を止水栓に、 取り付ける



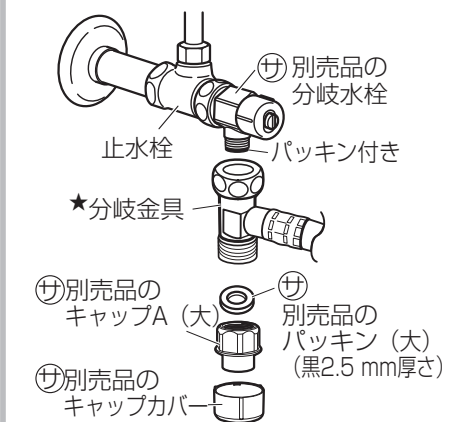
止水栓を元に戻せない場合

別売分岐水栓・キャップセットを
購入いただき、取り付けができます。



2 別売品の分岐水栓を 取り付ける

3 本体同梱の分岐金具を 取り付ける



詳しい取り付け方法は、別売品の
説明書を参照してください

2 給水管の取り付け

- 既に給水管がフレキシブルパイプや給水ホースで接続されている場合は、そのまま使用できます。

同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。



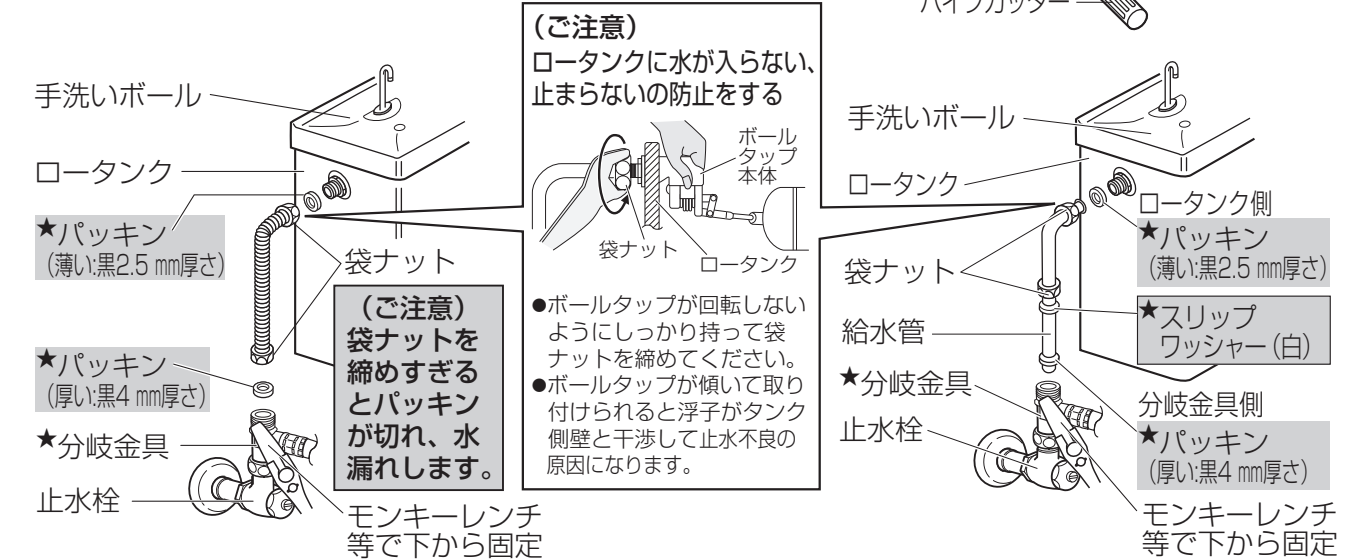
お願い

フレキシブルパイプは

- 曲げ過ぎない
- 何度も曲げ直さない（折れることがあります）
- 切断しない
- 長さが合わないときは、別売品または、ホームセンターなどで市販品を購入してください。

既設の給水管を使用する場合

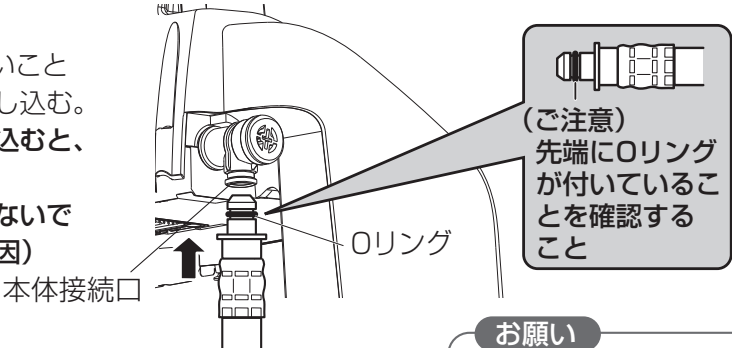
- 分岐金具側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。（フレア加工している場合は、切断長さに注意）
- 分岐金具への差込代は約10 mmを必ず確保する。



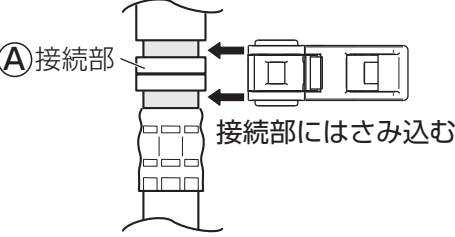
給水ホースを本体に取り付ける

1 本体への接続

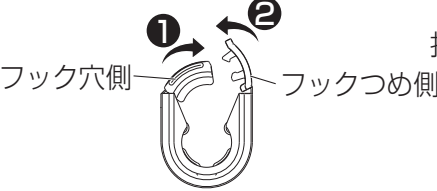
1. 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。
(ご注意) 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。
(お願い) 既設の給水ホースは使用しないでください。(劣化により水漏れの原因)



2. クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。
(「パチッ」と音がするまで差し込む)



3. フックを確実に固定する
① フック穴側を折り曲げる
② フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する
(「パチッ」と音がするまで固定する)

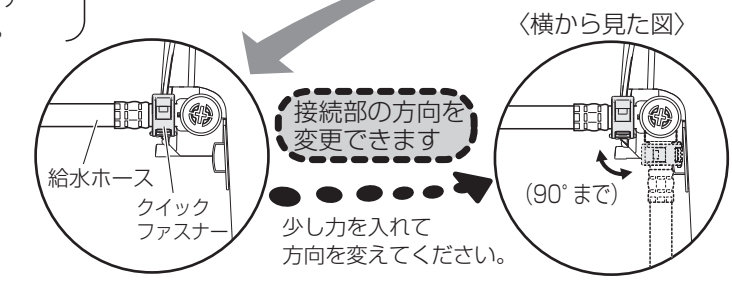


4. 給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。
※軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

お知らせ
給水ホースが短い場合は、別売品を販売店でご購入してください。
1300 mm用 AD-DL531-13
2500 mm用 AD-DL531-25
(別売品は、給水ホースと分岐金具が別々になっています。分岐金具側もクイックファスナーで接続するようになっています。)

2 必ず確認

- クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。
- 給水ホースを引っ張って、本体接続口から抜けないことを確認してください。



お願い
● フックが閉じないときは、(A) 接続部に確実に奥まで差し込まれていないため、再度クイックファスナーを差し込み直してください。

ご注意
● 給水ホースは切断しない
● 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
● 本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む

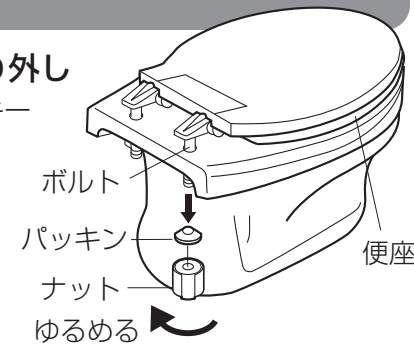
悪い接続例
※ フックが確実に固定されていないとクイックファスナーが外れ、重大な水漏れの原因となります。
フックが固定されていない

本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

1 既設便座の取り外し

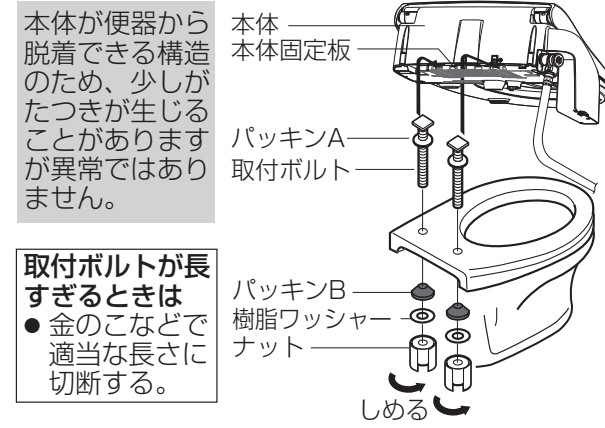
1. ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2. ナットとパッキンを外し便座を取り外す。



(ナットがさびてゆるまないときは)
● 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
● 取れないときは、金のかでボルトを切断する。

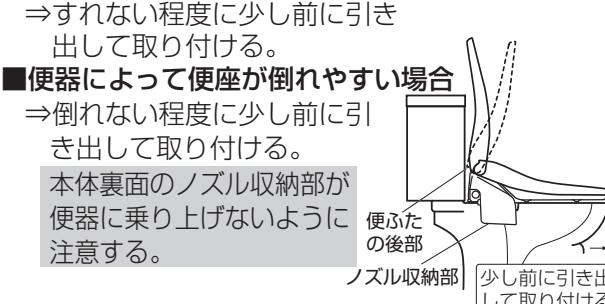
2 本体の取り付け (同梱の取付ボルトセット使用)

1. 取付ボルトからナット・樹脂ワッシャー・パッキンBを外す。
2. 取付ボルトの頭を本体裏面にある本体固定板の溝に差し込む。
3. パッキンAを上にかかして、本体固定板と取付ボルトを仮固定する。
4. 本体を便器に取り付け、取付ボルトにパッキンB・樹脂ワッシャーの順で取り付け、ナットを手でしっかり締め付ける。
(お願い) 工具でナットを締め付けないでください。



取付ボルトが長すぎるときは
● 金のかなどで適当な長さに切断する。

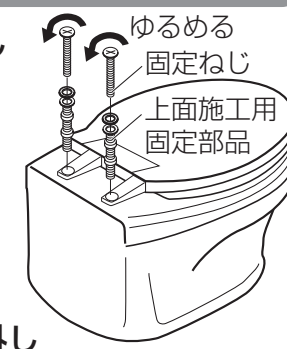
■ 便ふたの後部がロータンクにすれるまたは強く当たる場合
⇒ すれない程度に少し前に引き出して取り付ける。



下からナット締めができない便器の場合

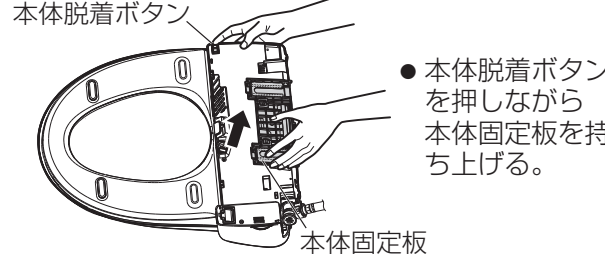
1 既設便座の取り外し

- 固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。
● 取り外した部品は、取り付け時に使用します。



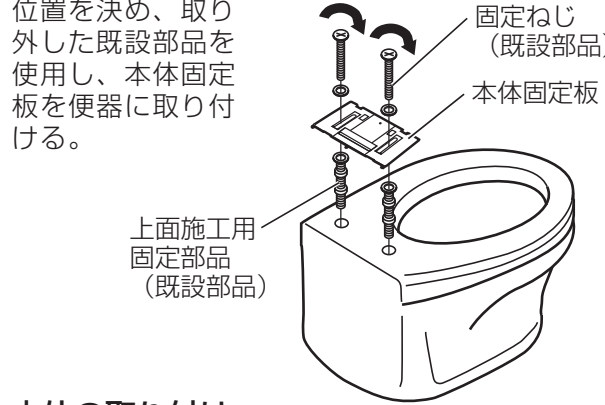
2 本体固定板の取り外し

本体裏面より本体固定板を取り外す。



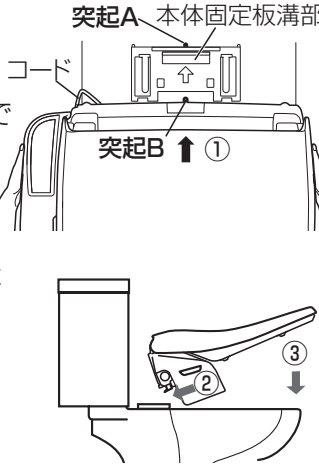
3 本体固定板の取り付け (既設の部品を使用)

位置を決め、取り外した既設部品を使用し、本体固定板を便器に取り付ける。



4 本体の取り付け

- ① 右図のように突起Aに突起Bを合わせる。
② 手前を浮かせた状態で斜めに差し込む。
③ 「カチッ」と音がするまで上から押す。
● コードを本体と便器の間にはさみ込まないようにしてください。



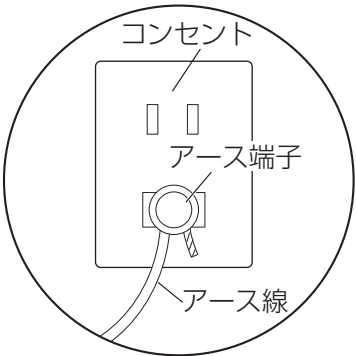
本体を便器に施工後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

取付

アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)

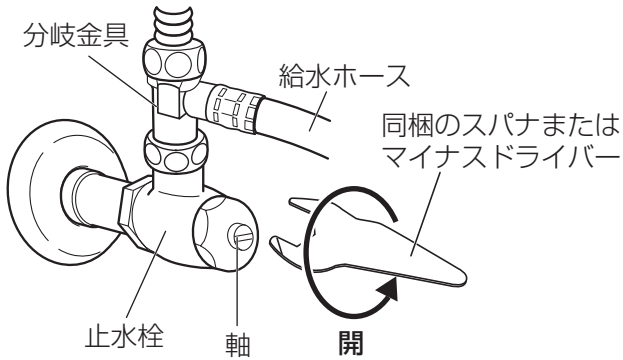


上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

各接続部がしっかりと接続されていることを確認してください。

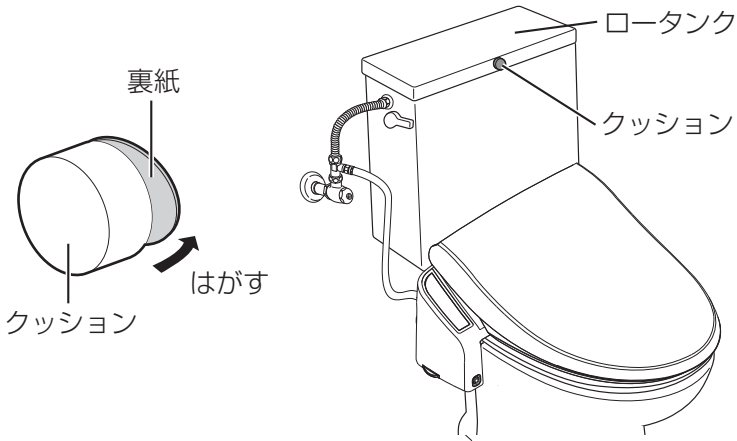
- 水道の元栓を開めた場合は開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。



クッションを取り付ける

(DL-WF60/50/40のみ)

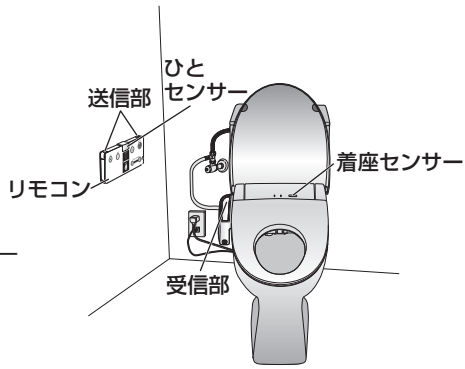
便ふたがロータンクに強く当たる場合は同梱のクッションを右図を参考に貼り付けてください。
● 貼る前に、汚れ、水分などをふき取ってから貼り付けてください。



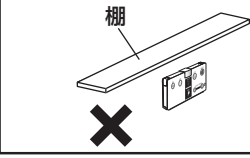
リモコンを取り付ける前の確認

リモコンを取り付ける前にご確認ください

- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していること、ひとセンサーが人を検知していることを確認してください。



リモコンと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。

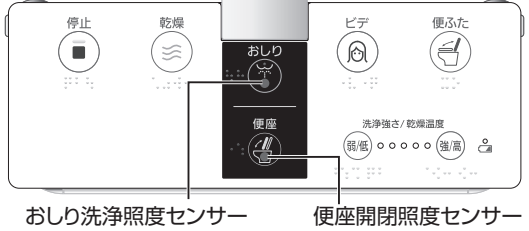
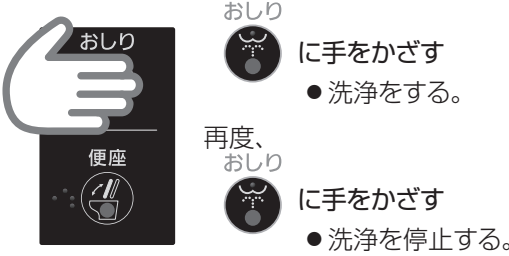


- DL-WF60/50/40の場合はおしり洗浄、便座開閉のタッチレス操作できる機能が付いています。
- タッチレス操作のとき、照度センサーに手をかざすため、棚などの障害物がない位置に取り付けてください。

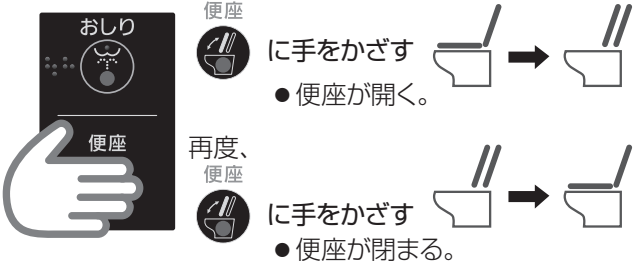
タッチレス操作とは (詳しくは取扱説明書をご確認ください)

リモコン中央部の照度センサーに手をかざすことで、リモコンに触れずに操作できる機能です。

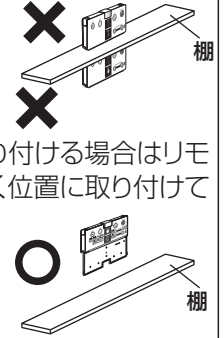
おしり洗浄



便座開閉



- タッチレス操作のとき照度センサーに手をかざすため障害物がないことを確かめてください。



- 棚などの上に取り付ける場合はリモコンのふたが開く位置に取り付けてください。

取付

リモコンを取り付け、電源を入れる

① リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【2ページ】を必ずお守りください。

② リモコンのふたを開けタッチレス設定を「切」にする(DL-WF60/50/40のみ)

③ 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

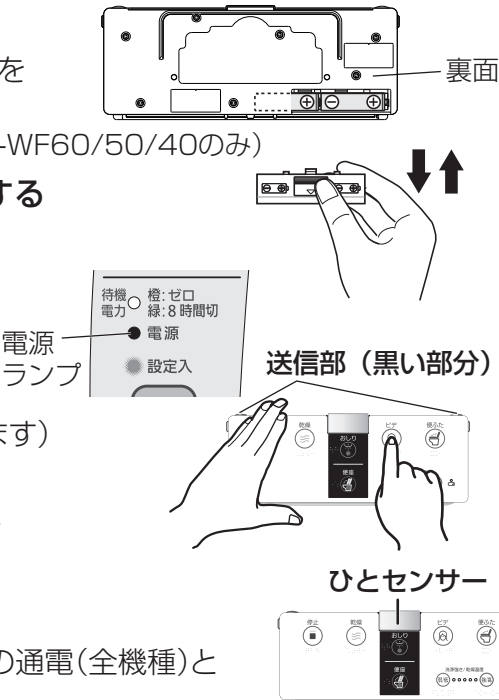
- ①電源プラグを差し込む
 - 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する
- ②リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはピデスイッチを押す
 - 本体の電源ランプが1回点滅と同時に本体より「ピピピ」と鳴ります。
(ただし、着座センサーが検知している場合は「ピッ」と鳴ります)

↓
送受信可能な位置です。

- ◆電源ランプが1回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

④ リモコンのひとセンサーの検知確認をする

- ひとセンサーは人(発熱体)の動きを検知し、便座の瞬間暖房への通電(全機種)と便ふたの開閉(DL-WF60/50/40のみ)を自動で行います。
- ひとセンサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、人を確実に検知する位置にリモコンを取り付けてください。ひとセンサーが人を検知すると本体から「ピッ」という受付音が鳴ります。
- ひとセンサーの検知エリアは左右160° 上下60°相当です。



⑤ リモコンのひとセンサーと本体の送受信確認をする

■DL-WF60/50/40の場合(便ふたの自動開閉機能付き)

- ①リモコンの自動開閉スイッチが「入」になっていることを確認する。
- ②便ふたを閉じ、一旦トイレから外に出る。
- ③3分以上経過後、トイレに入り、便ふたが開くと同時に、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する。(ただし、便座の温度が約30℃以上の場合は点滅せずに点灯)

■DL-WF20の場合(便ふたの自動開閉機能なし)

- ①便ふたを開けて一旦、トイレから外に出る。
(便座の温度を下げるため)
- ②3分以上経過後、トイレに入り、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する。
(ただし、便座の温度が約30℃以上の場合は点滅せずに点灯)

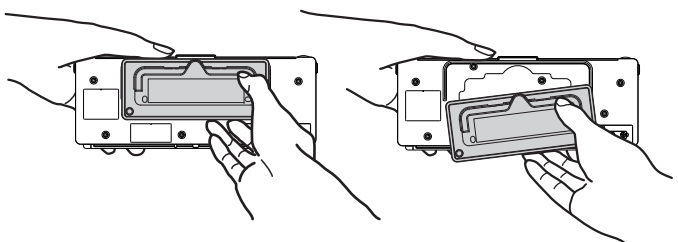


お知らせ

- ひとセンサーが人を検知すると、本体より「ピッ」と鳴ります。

⑥ リモコン(リモコンホルダー)を壁面に取り付ける

- ①リモコンからホルダーを外す
 - ホルダー上の溝に親指をかけ、ホルダー下を引き上げながら下にずらして外す
- ②ホルダーを壁面にねじで取り付ける

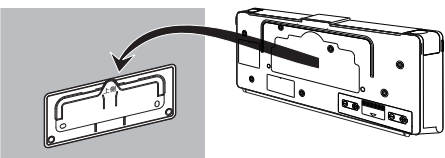


A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ねじ止めできない場合
●各種合板 ●ビニールクロスなど	●タイル ●コンクリート ●石こうボードなど 「注意」※1	別売品のビューティ・トワレ用リモコンプレートでペーパーホルダーに取り付けできます。販売店でご購入してください。ただし、2連式のペーパーホルダーには取り付けできません。 別売品ビューティ・トワレ用リモコンプレート 品番：AD-DLRCP1-F
 ●ねじ2本で壁面に取り付ける	 ①壁面に下穴をあける (直径 5.8 mm 深さ 35 mm) ②樹脂プラグを差し込む	 リモコンホルダー ねじ

※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同梱の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

③ リモコン裏面の溝を合わせて上から差し込む

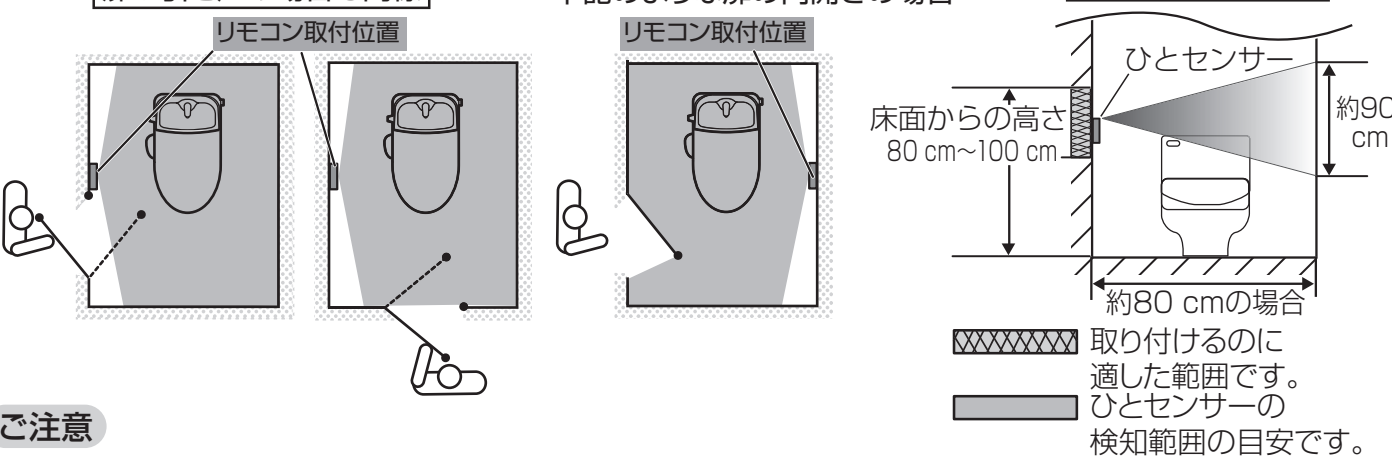
④ リモコンが取り外せることを確認する(電池交換が必要なため)



扉が引き戸の場合も同様

下記のような扉の内開きの場合

取り付け高さの目安

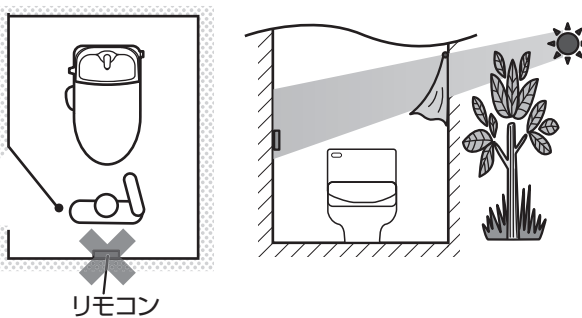


ご注意

次のような場所に取り付けるのは避けてください。

- DL-WF60/50/40の場合、便器に対してリモコンを正面に取り付けると照度センサーが人を検知して便座開閉することがあります。
- 直射日光の当たるところに取り付けた場合、カーテンや窓の外の木々の揺れで、直射日光がさえぎられると、誤作動することがあります。
- トイレで暖房器具などを使用すると、ひとセンサーが温風の熱を検知して誤作動する場合があります。

(DL-WF60/50/40の場合)



お知らせ

- ひとセンサーが人を検知すると、便座の暖房を開始します。室温が30℃を超えたり直射日光が当たったりすると作動しない場合があります。(人と周囲の温度差が少ないときは、熱の変化を検知しにくい)

試運転

試運転の前に… 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認してください。
(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)
給水接続部から水漏れがないことを確認してください。

手順

- 1 本体梱包用のポリ袋などをはさむ
(便座と便器の間)

2 電源プラグが差し込まれていることを確認する

3 漏電テストスイッチを2秒以上押す
漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
(漏電ランプ(赤)点灯、電源ランプ(緑)消灯)

4 電源プラグを抜く
● 漏電ランプ(赤)が消灯することを確認する。

5 電源プラグを差す
● 電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に変わります。
● 便座あたためランプが点滅して点灯に変わります。(便座温度が約30℃以上の場合は、すぐに点灯)
● 便座に手を当て、あたたまっていることを確認する。
● ECONAVIランプ、ナノイー設定ランプ(DL-WF60/50のみ)が点灯。
● 脱臭が始まります。

6 着座センサーを手で覆う
● ノズル付近から水が便器に流れ落ちます。

7 そのまま手で覆いながら、リモコンの
おしり または ビデ を押しポリ袋の上から手をあて温水が出ることを確認する
(温水が出ない場合は、リモコンの温水温度スイッチで設定温度を切り換えてください)
● 止めるときは 停止 を押す。
● 着座センサーから手を離すと、ノズルが戻りノズルを洗浄します。

8 リモコンのふたを開けてタッチレス設定を「入」にする (DL-WF60/50/40のみ)

9 取扱説明書に従って、おしり・ビデ洗浄など機能の確認をする

10 ポリ袋を外す
- 本体操作部

漏電ランプ(赤)
電源ランプ(緑)
ナノイー設定ランプ
漏電テストスイッチ

便座あたためランプ
ECONAVIランプ
着座センサー

ポリ袋など
- 着座センサーを手で覆わずに本体操作部の を押した場合

ノズルがお手入れ状態になり水が下に流れます。
→この場合、リモコンの 停止 を押して、ノズルが収納されるのを確認してください。
その後、手順 6 から試運転を行ってください。

こんなときは

現象	考えられる原因と処置方法		参照ページ
ECONAVIランプと、待機電力8時間切ランプが同時に点滅する	● 止水栓が開になっていない ● 止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ	止水栓を開にし、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う	14 18
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道水フィルター(水抜き栓)がつまっている	掃除する	取扱説明書
	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	10
	止水栓が開になっていない	止水栓を開にする	14
	ロータンクに給水中	水が貯まるのを待つ	—
ロータンクの水が入らない、止まらない	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す	11
手洗いボールから水はねする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	14
接続部から水漏れする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着	Oリングのゴミを取り除く	12
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	—
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	11
	クイックファスナーの差し込み不足やずれ	確実に固定する	12
電源が入らない	テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動(本体の漏電ランプが点灯)	電源プラグを抜き、漏電ランプが消灯後、電源プラグを差し込む	18
ひとセンサーが検知しない	● 人がいても体の動きがない ● 電池の入れ忘れ	● 体を動かしてください(センサーは熱の変化を検知する) ● 電池を入れる	16~17
天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する	取扱説明書「保証とアフターサービス」の修理ご相談窓口にご連絡ください		

施工後の注意

凍結するおそれのある場合や長期間(1週間以上)使用しない場合は、水抜きをしてください(取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照)